

令和3年度第2回(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン有識者懇話会

日時: 令和3年11月2日(火) 14時50分から

埼玉会館小ホール

〈次 第〉

1 開 会

2 議 事

(1) 2050年の浦和の将来像・コンセプトについて

3 その他

4 閉 会

(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン有識者懇話会委員名簿

(敬称略)

	氏名	団体名等	備考
1	隈 研吾	建築家	会長
2	安藤 梢	三菱重工浦和レッズレディース選手	
3	市川 淳平	さいたま市浦和商店会連合会 副会長	
4	坂井 貴文	埼玉大学学長	
5	田口 裕基	株式会社三越伊勢丹 執行役員 伊勢丹浦和店長	
6	鳥羽 三男	東日本旅客鉄道株式会社 浦和駅長	
7	廣瀬 通孝	東京大学名誉教授	
8	向井亜紀	タレント	
9	安河内 眞美	古美術鑑定士	

有識者懇話会(第1回)を開催

「2050年に浦和が目指すまちとは」をテーマに
浦和の魅力と価値について、お話しいただきました。

有識者懇話会 会長

建築家 隈 研吾氏

浦和まちあるき



(仮称) 浦和駅周辺まちづくりビジョン 有識者懇話会 (第1回)を開催

令和3年8月28日(土)に、「(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン有識者懇話会」を開催し、文化、教育、スポーツ、情報、社会文化、まちづくりなど、各分野の有識者の方々や地域の代表の方々から、様々な観点でご意見を伺いました。



スポーツを通して、コミュニティが出来てみんなが元気になるまちづくりが浦和だからこそ出来る。

安藤 梢 委員



浦和駅は浦和のコミュニティにとって非常に重要な場所。身近でオープンスペースもつくりやすく、駅周辺のリ・デザインが重要なテーマである。



隈 研吾 会長

「2050年に浦和が目指すまちとは」をテーマに浦和の魅力と価値について、お話しいただきました。

浦和は、落ち着いた静かな印象でとても魅力がある。浦和の文化・教育、食やスポーツなど、地域の魅力を駅からも発信していきたい。



鳥羽 三男 委員

浦和には、もっとのんびりしっくりゆっくり、住みやすさを残しながら昔の風景を残しながら、発展して欲しい。



向井 亜紀 委員

もしもの時のために、バーチャルを備え、活動を止めないことが重要。バーチャルとリアルをつなげるデジタルツインをまの基盤として取り込んでいく。



廣瀬 通孝 委員

文教都市発展に向け人生百年時代の教育の発信地を目指す。リスクリング、リカレント教育等の発信基地となり、新たな文教都市の魅力を生み出す。



坂井 貴文 委員

浦和は、教育・美術の土台があるので、更に美術が身近に感じられる環境を作るとよい。スポーツとアートのバランスの取れた歩きやすいまちが理想。



安河内 眞美 委員

浦和は住宅都市。住民サービス系の業態が向いている。商売や生活でのトラブルも少ない。今後も安心・安全なまちとしての維持・発展を望む。



市川 淳平 委員

駅前周辺は人口が十年間増加しており、国内でも稀な商業環境。サッカーのまちとして情熱があり、勉強とスポーツを両立して子育てをする方が増えている。



田口 裕基 委員



新型コロナウイルスの新規感染者が急増していることを受け、開催方法を無観客オンライン開催へ変更し、会議の様子は、YouTubeでライブ配信を実施しました。（現在でもご覧いただけます。）詳しくは、市のホームページをご覧ください。



令和3年度 第2回庁内検討会

開催日 8月30日(月)

議題 (仮称) 浦和駅周辺まちづくり
ビジョン(骨子 概要版) 素案

都心が目指すまちづくり、浦和駅周辺の魅力・価値及びまちの将来像のコンセプトについてキーワード等を整理しました。

主な意見

- ・SDGsは2030年まで、ビジョンは2050年と期間に差があり、SDGs取組後(2031年~2050年)に、それらの取組をどのように引き継いでいくのか、イメージの整理をしてはどうか。
- ・「文化」の言葉は、広い意味を含んでいるので、何を「文化」として捉えているか、内容を感じ取ることができる記述があるとよい。
- ・恵まれた伝統ある地域資源を活用するため、浦和駒場スタジアム周辺等も検討対象範囲とするべき。

「庁内検討会」とは、庁内の関係課で構成されるまちづくりビジョンの検討組織です。令和3年度に入り、2回開催しました。

庁内検討会 開催報告



<p>新技術活用 (Society5.0・DX)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ICT・IoTなどまちのデジタル化の推進 <input type="checkbox"/> EBPМ・ビックデータ等のまちづくりへの活用展開 <input type="checkbox"/> デジタルツイン <input type="checkbox"/> スマートシティ(ヒトにやさしく、便利で暮らしやすいまちづくり)の実現 等 	<p>県都(行政)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 県都である浦和の誇り <input type="checkbox"/> 県の中核機能の集積 <input type="checkbox"/> 県都としての活動を支えるまちの環境 <input type="checkbox"/> 県の玄関口として風格ある街並み <p>[有識者意見] 落ち着いた静かなまちの印象が魅力である。</p>	<p>居住・交通環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 多様な都市機能の集積、高質な都市環境(高質なまち) <input type="checkbox"/> 子育て環境の維持・強化 <input type="checkbox"/> グローバル化 <input type="checkbox"/> 市民参加の促進、官民連携の推進、ミクストコミュニティの形成 <input type="checkbox"/> 老朽インフラの適切な維持管理・更新、有効活用 <input type="checkbox"/> 公共交通の利用促進 <input type="checkbox"/> ヒト中心のウォーカブルなまち(トランジットモール化) <input type="checkbox"/> インクルーシブ 等
<p>[有識者意見] コミュニティは、情報通信技術の発達により、場所を選ばないものになってきている。情報技術の活用は、浦和で何をしたいかが重要。災害時に都市活動を止めないために、デジタルツインによるまちの基盤整備が重要。リアルとバーチャルの特性を生かせるるとよい。</p>	<p>商業・業務(経済)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 県都としての経済基盤の維持・強化 <input type="checkbox"/> 多様なヒト・モノ・コトの集積、交流人口の拡大、グローバル化 <input type="checkbox"/> 多彩な交流・活動の促進によるイノベーションの創出 等 <p>[有識者意見] 浦和は、駅周辺の商業環境が整っている。</p>	<p>[有識者意見] 大宮は商業・業務メインのまちであるのに対し、浦和は居住があるまち。保育所など居住サービス系の施設需要が高い。現在ある住みやすさや昔の風景を継承していくとよい。スポーツとアートを生かした歩きやすいまちがよい。駅周辺は、地域コミュニティの象徴として、市民全体のレクリエーションの場。</p>

まちの将来像となる 9つの分野とコンセプトのキーワード

有識者懇話会、庁内検討会等の意見を踏まえ、次の9つの分野について、まちの将来像を検討していきます。各分野別のコンセプトとなるキーワードや有識者の意見を整理しました。

スポーツ（サッカー等）
<ul style="list-style-type: none"> □スポーツシュレ □サッカーを核としたまちづくり（サッカー文化の世界発信、デジタル化） □プロスポーツとの連携・交流機会の創出、スポーツビジネスの展開 等
<p>[有識者意見] サッカーは浦和のまちに沁みついており、浦和のアピール要素のひとつとなっている。 学校とのコラボ活動など地域との共存共栄に積極的に取り組んでいる。</p>

文化・教育
<ul style="list-style-type: none"> □文化・教育の環境の維持・強化（文教都市） □大学等の教育機関との連携促進（知の集積） □生涯学習の機会づくり □生きがいづくり □文化活動の維持・促進 等
<p>[有識者意見] 文化的資源・要素が豊富にあり、浦和のまちに溶け込んでいる良い学校が多く集積していた背景が、文教都市としての礎となっている。 浦和には、文化・教育の土台がある。</p>



別所沼公園

安全・安心
<ul style="list-style-type: none"> □レジリエンス □防犯（都市型犯罪の発生の抑止に配慮） □災害時の避難場所・活動拠点の確保、マンションの老朽化対策、延焼リスクの軽減 □地域の防災活動の強化（地域コミュニティの維持） 等
<p>[有識者意見] 浦和は商売・生活でのトラブルが少ないまち。 浦和の人だけではなく、広域的にみた防災活動の拠点。災害時の人の移動ルートや道路別に役割、地域レベルでのエネルギーの自立の検討等が必要。</p>

環境・エネルギー
<ul style="list-style-type: none"> □脱炭素型ライフスタイルの促進 □自然エネルギーの活用促進、水と緑のエコロジカル・ネットワークの推進 □次世代モビリティの導入 等
<p>[有識者意見] まちとともに人々の考えがスマートになると、ライフスタイルや地域での暮らし方に関連して脱炭素に繋がっていく。 エネルギー管理、地域のマネジメントの視点が必要。</p>

緑・景観
<ul style="list-style-type: none"> □別所沼公園や調神社など、貴重な緑資源の維持保全・活用促進 □緑あふれる景観の形成（都市緑化の推進） □グリーンインフラの取組推進 等
<p>[有識者意見] 身近に緑を感じることができ、落ち着いたまちのイメージ。 通りの構成と沿道の緑などの空間的バランスが整っている。 感性豊かな絵描きたちに愛された美しい緑・景観があった。</p>

浦和まち

あるき

建築家

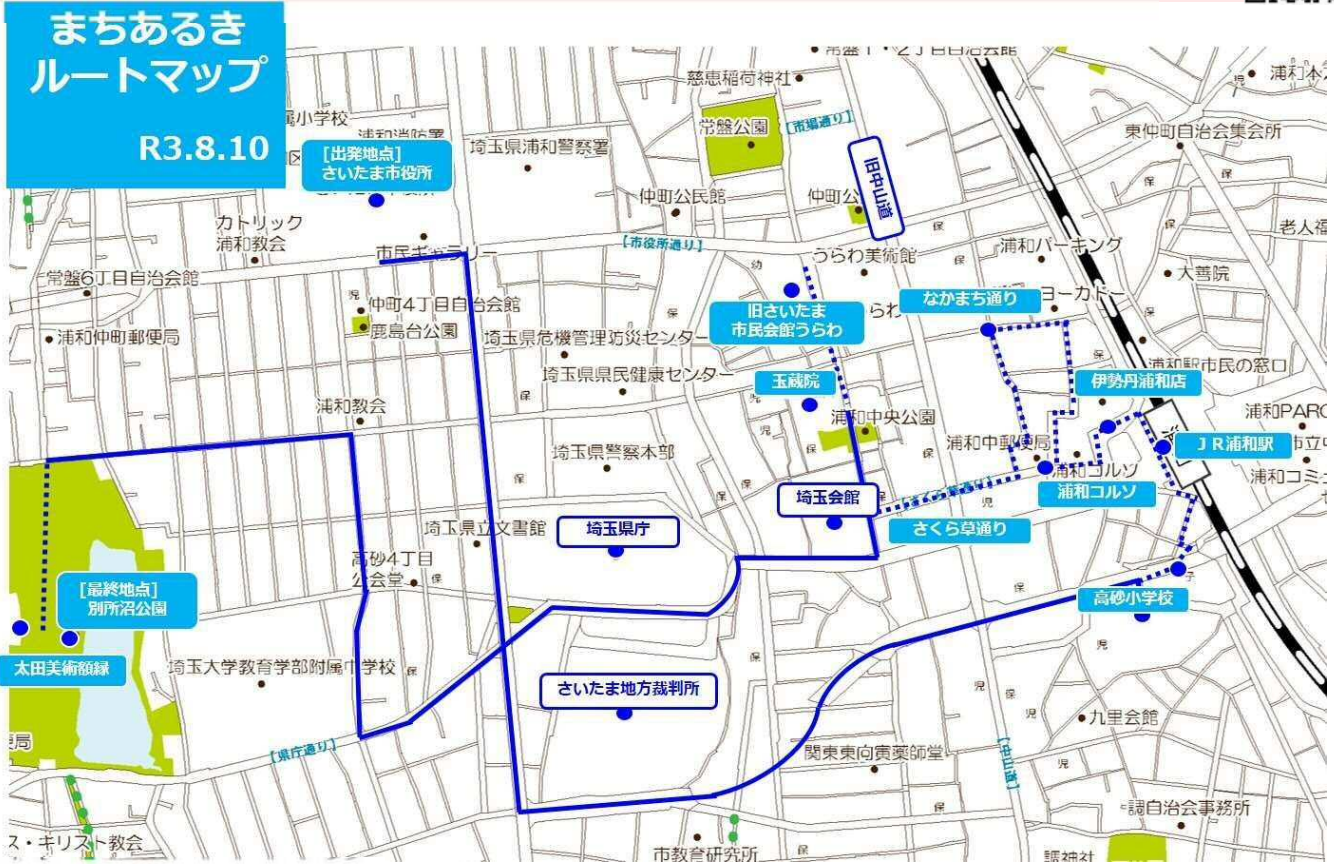
隈研吾氏

&

さいたま市長

清水 勇人

仕事の際には必ずまちを歩き、利点や欠点を客観的に見てきたという隈氏。浦和の歴史や地域資源を五感で感じて頂くためにまち歩きをしていただきました。



スタート (市役所)

JR浦和駅周辺



浦和のまちのスケール感や雰囲気まちあるきを通して実感したいです

駅前でサッカータウンとうたっているのは浦和だけかもしれませんね
熱狂的なファンがいらっしゃるのもうなづけます



終わりに…

ウォークアブルなまちが一つのテーマになっている中で、**浦和にはいくつもの宝がある**ことを知り、非常に感銘を受けました
浦和が持っている、緑や路地性をより磨いていくにはどうすればいいかを懇話会でも議論を重ねて、今の浦和を次世代にうまくつないでいけたらと思っています



ゴール (別所沼公園)

太田美術額縁さんですね
映画のロケ地に使ったら
素敵な映画が撮れそうですね



お知らせ



先日行われたスペシャルトークセッション動画を公開しています。
トークの中では、さいたま市の都心の魅力をはじめ、隈氏が建築家を志したきっかけや仕事への向き合い方などのお話もしていただいております。是非ご覧ください。

**建築家 隈研吾氏×さいたま市長
スペシャルトークセッション**



立原道造さんの設計案のヒアシンスハウスですね
東大建築では伝説的な方です
別所沼との関係性もとても面白いですね

埼玉会館周辺



埼玉会館は前川國男先生の作品ですね
周辺に緑のひろばが広がるとより素敵かもしれないですね



都心魅力発信シンポジウム



お知らせ



建築家 隈研吾氏



東洋大学教授
水村容子氏



建築家
平野利樹氏

住みたい街ランキングの上位に選ばれるなど、その魅力から存在感を増すさいたま市の都心。

一方、コロナの脅威とともに、技術革新やグローバル化など大きく社会が変化しています。未来で住み続けたいまちとは、何か。

そのまちに向けて、現在の魅力を伸ばすための都市デザイン（美とは何か）、住環境（住み続けられる都市とは何か）などについてディスカッションをしていただきます。

開催日時 令和3年11月2日(火) 13時30分から
会場 埼玉会館小ホール(浦和区高砂3丁目1-4)
テーマ 「さいたま市の未来を考える
～コロナ後のまちとは～」

パネリスト

- ・隈研吾氏(建築家)
- ・水村容子氏(東洋大学ライフデザイン学部 教授)
- ・平野利樹氏(建築家、東京大学特任講師)

第2回(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン有識者懇話会

シンポジウム終了後、「2050年の浦和のまちの将来像」をテーマに、同会場で開催します。

まちづくり・都市デザイン競技



このコンペは、全国の都市から実施都市を募集し、毎年1つの都市が選定されます。選定された都市では、地区の計画・条件等を提示し、全国からアイデアを募集し、毎年多くの大学やコンサルタント、建設会社等から50件を超える応募があります。

さいたま市「浦和駅周辺地区」は、第24回(2021年)の選定都市及び地区となりました。

主催：まちづくり月間全国的行事实行委員会
(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

後援：国土交通省、さいたま市

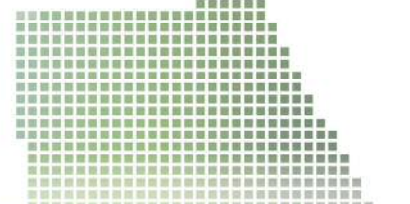
第24回
2021年

埼玉県さいたま市 浦和駅周辺地区

Society 5.0時代に輝く持続可能な都市のリ・デザイン

まちづくり・都市デザイン競技

主催 国土交通省、さいたま市、後援 国土交通省、さいたま市、協賛 国土交通省、さいたま市、協賛 国土交通省、さいたま市



応募資格期間	令和2年10月1日(金)～令和3年10月1日(金)
応募募集期間	5/20(月)～5/27(日)
応募受付時間	令和3年11月1日(金)13:30～14:30
オンライン説明会	令和3年10月29日(金)
質疑応答受付期間	令和3年11月1日(金)～11月27日(金)
賞状授与式開催	令和3年12月3日(金)
選出・発表	令和4年3月15日(月)17時～
入選発表	令和4年5月予定
表彰式	令和4年6月(まちづくり月間期間内)

【委員】
 実行委員 国土交通省、さいたま市、協賛 国土交通省、さいたま市
 審査委員 国土交通省、さいたま市、協賛 国土交通省、さいたま市

国土交通省賞(賞状及び賞金 50万円) 1点
 まちづくり月間全国的行事实行委員会賞(賞状及び賞金 25万円) 1点
 (公財)都市づくりパブリックデザインセンター賞(賞状及び賞金 15万円) 1点
 協賛賞(賞状及び賞金1万円) 賞1点につき1点 2点以内
 さいたま市長特別賞(賞状及び賞金) 1点

詳細は事務局「まちづくり・都市デザイン競技」内の応募要項等をご覧ください
<https://www.sdc.jp>



コラム うらわを知る

コラム「うらわを知る」では、まちの魅力を再発見できるものや場所をご紹介します。第2号では、「ロイヤルパインズホテル浦和」と同じ建物（浦和センチュリーシティビル）の3階にある「うらわ美術館」をご紹介します。

うらわ美術館

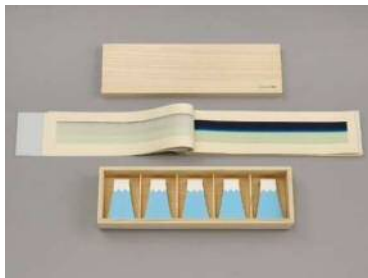
2000年に浦和駅から程近い交通至便の市街地に開館した、都市型の美術館です。「地域ゆかりの作家」「本をめぐるアート」を美術作品収集の柱としています。

地域ゆかりの作家

地域の美術に関する調査はどこの公立美術館でも取り組まれています。当館が際立つのは、この地域に「浦和絵描き」といわれる顕著な美術の足跡があることです。1931（S6）年には40名余りの芸術家たちが住んでいたともいわれました。当館ではその様相を探り、その成果を展覧会に反映しています。



小松崎邦雄《浦和風景》1947年



ヴェロニカ・シェパス《Fuji》2016年

本をめぐるアート

本に関する美術作品の収集・研究活動も、この街の文教地域のイメージと合致する方針です。図書館や文学館とは異なる、美術の視座からみつめる本のアートワークの本格的な収集は国内でも珍しい試みであり、その個性的なコレクションは国内外から注目を集めています。

うらわ美術館はこのような地域に根差した身近なコレクションを形成しながら、人々に親しまれ、未来へ広がる特色ある美術館となることを目指しています。まずは、気軽に多くの人たちが当館とつながる場として開設した特設サイト「Art into Life」にアクセスして、本市が誇るコレクションの一部に触れてみませんか？



うらびい

特設サイト

Art into Life

うらわ美術館が展覧会とは異なるアプローチでお届けする、皆さんの日々の生活とアートをつなぐ試みの数々をご覧ください。

収蔵品の紹介や、お家で創作を楽しむヒントの他、ご家族向けのコンテンツもあります。

【現在～2022年6月まで】



展覧会

うらわ美術館開館22周年

芸術家たちの住むところ

2020年にコロナ禍で開催中止となった幻の当館開館20周年記念展を、2年の延期を経て実現します。多くの芸術家が集い数々の作品が生まれたこの土地を改めて見つめ直します。

【前期】2022年4月23日～6月19日

【後期】2022年6月28日～8月28日

うらわ美術館 TEL.048-827-3215 FAX.048-834-4327

コラム 大学生が浦和を考える

埼玉大学経和会寄付講座 実践ベンチャー論Ⅱ 成果報告会

埼玉大学の学生や講座のスポンサー企業などが参加し、市役所職員によるビジョン検討状況の説明後、浦和駅周辺の市街地整備の様子を見学しました。成果報告会での提案等をお知らせいただきましたので、ご紹介します。

提言 —2050年の浦和を考える—



企業やまちについてのお話を伺う過程で、その企業のみならず、その企業が携わる産業や、地域について理解を深めることができた

特に、地元に着目して事業を行う企業は、周辺住民や環境との共生を目指すことが重要であり、これは持続可能な産業・社会を実現することにもつながるだろう

まちづくりにおいても、地元企業が担う役割は大きく、まち全体のデザインには行政のみならず、多くの団体・ひとが関わっている

出典：埼玉大学経済学部 実践ベンチャー論Ⅱ 尾形優太郎君 成果報告会資料（抜粋）

今後の検討スケジュール&お知らせ

次回のニュースレターは、まちづくりビジョンの骨子（案）等をご紹介します予定です。

有識者、市民等のご意見をより広く伺いながら作成



引き続き、今後も調査・検討を進めていきます。地域の皆さまには、ビジョンの策定に向けて、ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

浦和駅周辺のまちづくり News Letter 第2号



発行
令和3年10月

〔問合せ先〕
さいたま市 都市局 都心整備部 都心整備課 都心整備係
TEL 048-829-1577 FAX 048-829-1937